

行う授業の実施時期を調整するなど、生徒の授業や活動に支障がないよう、学校が柔軟に対応していく。

議案 No.67

旧泉中学校校舎棟等解体工事の変更

変更するに至った経緯は。

土砂の流出防止対策を行う必要があるため、のり面保護効果が高く、今後の維持管理の向上も図ることができると防草シートを敷設する工法へ変更したため。

解体工事で発生した処分材について、処分量の減少が見込まれる理由は。

工事の進捗に合わせて実績数量を確認し、残工事分の発注材処分量を精査したところ、当初の設計数量を下回る見込みとなったため。

田原文化ホール空調設備改修工事

議案 No.71

田原文化ホール空調設備改修工事

文化ホールの空調方式を水冷方式から空冷方式に変更した理由は。

トータルコストで約5%の費用を削減できる見込みから、空冷式を採用する。

文化ホールの利用ができなくなる期間は。

来年の1月中旬から5月末までの約4カ月半となる。
(6/22 文教厚生委員会)

議案 No.70

令和8年度一般会計補正予算

障害福祉サービス事業

障害福祉サービス等の報酬に係るシステム改修の今後のスケジュールは。

速やかに契約を締結し、7月中にはシステム改修に着手、完了する予定である。

改修による事業所への影響は。

7月中にシステム改修が完了する予定のため、事業所への影響はないと考えている。

障害児等支援事業

当初ではなく、6月補正予算で必要になった理由は。

今年の2月に医療的ケアが必要となる疾病を発症した児童がいて、その児童が安心して学校生活を送れるよう看護師配置が必要となり、このタイミングで補正予算を計上した。

ごみ減量・資源化推進事業

原材料費の高騰に伴い、市民が購入しているごみ袋の金額は値上がりするののか。

現在のように急激に原材料費が高騰し、先行きが不透明な状態では、適正な販売価格を設定することができないため、今回の補正予算計上に伴う指定ごみ袋の販売価格の値上げは行わない。

令和8年度のごみ袋は予定枚数を確保することができるののか。

補正後の予算額において、本年度分の予定枚数の製造、供給は可能と製造業者から回答を得ている。

担い手支援事業

新規就農チャレンジ事業は、国の新規事業であると同っているが、この事業の特徴は。

過去に経営発展支援事業等を活用した方であっても、認定新規就農者の認定を受ける際に作成した計画を達成できた方、もしくはその達成が見込まれる方については、支援を受けられるという点が一番大きな特徴である。

市民館整備事業

田原南部市民館多目的ホールの完成予定は。
10月上旬から工事の着手を行い、来年5月末頃に完成する見込みである。

完成が遅れることを、市民館を利用する地元の方にどのように周知するののか。

今年の5月に今回の補正予算が必要のため、完成が遅れることの説明を行い、承知いただいている。
(6/23 予算決算委員会)

陳情を審査しました

▽最低賃金の全国一律化と大幅引き上げ、中小企業支援の拡充と公正取引を求める意見書の提出を求める陳情 他7件

文教厚生委員会および総務産業委員会にて陳情をそれぞれ審査した結果、全て不採択となりました。
※陳情結果はホームページでもご覧いただけます。

